

1 単元名 「すきなもののクイズ」をしよう（東京書籍 1年 下）

2 単元の指導計画（全8時間扱い 本時3／8）

次	時	主な学習活動・内容	主な評価
一	1	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れを知る。 ・新出漢字、片仮名の読みを確認する。 ・司書教諭とのクイズのデモンストレーションを見て、対話のやりとりの仕方に気付く。 ・クイズ大会までの見通しをもつ。 	<p>○クイズの出し方や答え方を理解し、楽しみながらクイズを作ろうとしている。</p>
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・「好きな○○」を出し合い、好きなものの集めをする。クイズにしたい好きなものを決める。 ・「好きな○○」とクイズの答え、絵をマンダラート表に記入する。 	
二	3 本 時	<ul style="list-style-type: none"> ・好きなものの特徴を捉えてヒントを考える。 ・ヒントをより分かりやすくするにはどうすればいいかを考える。 	○クイズを当ててもらうために、好きなものの特徴を集め、ヒントを考えている。
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・「まとまりを表すことば」を整理、確認する。 	○好きなものの特徴が伝わるように、様子を表すのにふさわしい言葉を用いて文を書いている。
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じてまとまりを表すことばを使いながら、好きなものの特徴が伝わるように他の「すきなもののクイズ」をつくっていく。 	
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を読み、クイズの出し方、質問の仕方、答え方を理解する。 ・クイズをするときに気をつけることを確認し、対教師とクイズのやりとりの練習をする。 ・どれをヒントとして出すか、考え選ぶ。実際にクイズに出す言葉（敬体）に直してみる。 	<p>○クイズを出し合うときの話し方や聞き方を理解している。</p> <p>○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。</p>
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・小グループになり、トーキングスティックを用いてクイズを出して話し 	○クイズやヒントをはっきりと話したり、話を聞いて分からないことを適切

		合う練習をする。 ・練習の様子を振り返り、良かったところを出し合う。	に質問したり、答えたりしている。
三	8	・クイズ大会を行う。	○クイズやヒントをはっきり話したり、話を聞いて分からないことを質問したり答えたりしている。

3 本時の指導

(1) 目標

○ものの特徴を伝えるためにどんなヒントが必要か考えることができる。

(2) 展開

主な学習活動	○指導上の留意点 ◎評価
1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを知る。	○前時までのワークシートを確認させる。
「すきなもののクイズ」のヒントをつくろう。	
2 マンダラート表の書き方を知る。 ・メロンの例を使ってマンダラート表を埋めていく。 発問：メロンで思いつくもの、何がある。	○司書教諭による説明。 ○マンダラート表に書くことの留意点 1 思いつくものを書いてよい。 2 一文は短くする。 3 一つの部屋に一つのことを書く。 ○マンダラート表に思いつくものを書いていくと、それがヒントになるということを伝える。
3 自分のマンダラート表にヒントになる言葉を考え、書いていく。	○それぞれの特徴を表す言葉をマンダラート表に記入する。 ○机間指導を行う。前時に書いた自分の絵を見ながらヒントになるところを探させる。 ○すぐに大人に聞くのではなく、まずは子ども達同士で考えさせる。
4 まとまりを表す言葉があることを知り、もう一度自分のマンダラート表を見直してみる。	○まとまりを表す言葉を押さえる。 緑、黄色、赤…「色」のまとまり 丸い、四角い…「形」のまとまり

<p>5 本時の振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒントがたくさん見つかってよかったです。 ・友達が教えてくれて色や形が分かりました。 <p>6 次回の学習を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○まとまりを表す言葉があると、ヒントが分かりやすくなることを伝える。 ○まとまりを表す言葉がないこともあると伝え、友達に聞いてみたり、一緒に隣の友達のまとまりを表す言葉を見つけたりするのもよいことを伝える。 ◎クイズを当ててもらうために、すきなものの特徴を集め、ヒントを考えている。(ワークシート、発言) ○今日の勉強で頑張ったこと、友達と話してよかったことや分かったことを発表させる。 ○クイズの作り方を学習したので、他のもので「すきなものクイズ」を作ることを伝える。
--	---

(3) 本時の評価

十分満足とされる児童の姿	おおむね満足とされる児童の姿	支援を要する児童への具体的支援
<p>好きなものについてのクイズを当ててもらうために、友達と話をしながら、分かりやすいヒントを複数考えている。</p>	<p>好きなものについてのクイズを出すために、ものの特徴が伝わるヒントを複数考えている。</p>	<p>自分の書いたイラストや経験から、自分の決めた好きなものにどんな特徴があるか考えさせる。</p> <p>パッと見て一番目につくところをヒントとして選ぶと分かりやすくなることを伝える。</p>